令和6年度　第１回彦根市地域包括支援センター運営協議会　議事録（要約）

開催日時：令和６年8月２９日（木）13時30分～15時30分

場　　所：福祉センター別館2階　多目的会議室

出席者

【委員】新井議長、連副議長、熊越委員、辻委員、中川委員

森委員、蓮井委員、竹松委員…8名出席で当協議会成立。

【地域包括支援センター】すばる中川所長、ハピネス青木氏、ひらた増田所長、

ゆうじん安原所長、きらら上田所長、いなえ白谷所長

【事務局】大久保部長、池田次長、平野課長、浅居係長、吉田、黒木、中村、樋口、矢田、八木、北川、雨森

**◆開会**

**◆福祉保健部長挨拶**

**◆自己紹介・資料確認**

**◆会長・副会長**

会　長：滋賀県立大学の新井議長

副会長：彦根歯科医師会の連副議長

**◆議題**

**（１）****令和５年度彦根市地域包括支援センターの取組について**

* 事務局から説明。
* 辻委員：報告時は評価につながるような工夫されている点などを発表すると、評価がしやすい。
* 各地域包括支援センターから、令和５年度彦根市地域包括支援センターの取組について説明。

【質問・意見】

|  |  |
| --- | --- |
| 委員 | 質問・意見 |
| 辻委員 | 保健師がミニ講座を作成したが、依頼がなかった要因についてどう分析しているか。 |
| すばる | 住民に認知症についての偏見が残っている。また、住民側が認知症に関する知識を得る機会がなかなかない。さらに住民に認知症に関する課題等について、自分事感がない。  認知症カフェ「ぴーちくぱーちく」等を通じて周知しているが、なかなか開催依頼がないのが現状である。 |
| 辻委員 | 課題として偏見が残っていることや、住民への周知についてなどの意見があったが、今後どのようにするか。 |
| すばる | 認知症になっても安心して暮らし続ける町づくりについて地域の方と一緒に考えるため、令和４年度では城東学区を対象に地域ケア会議を開催し、地区の公民館に通う住民を対象に啓発活動を取組として実施した。また、中学生を対象に認知症や老いに関する授業を通じて、親にも学びを共有してもらい、家族にも「認知症になっても地域でも暮らし続けていくこと」について考える機会を広げている。 |
| 新井委員 | 認知症について近年は触れる機会も多く、講座の依頼がない要因に講座のマンネリ化や住民も一定の知識があるのではないか。  また、講座の対象者について限定していたのか。 |
| すばる | 一昨年の地域ケア会議に参加していた30代の方からの意見として、「認知症に関わったことがない。日中は仕事をしている。」といったものがあった。  　また、認知症に関する意識を持っているのは福祉関係者が多い一方、高齢者の生活等のバックグラウンドまでイメージして認知症の意識を持って住民をみている機会はあまりない。  　なお、講座の対象者については特に限定してはいない。 |
| 熊越委員 | 地域ケア会議開催できなかったとの意見もあるが、その理由について。 |
| ゆうじん | 企画していたが、参加する事業所の都合や見守り活動への参加か  ら日程調整が困難であった。また、開催にかかる内容や方式について悩むことが多い。 |
| すばる | 地域ケア会議開催の課題について、地域や住民側の困り事と、包括側の困り事が一致しないと、会議の効果がないといったものがある。また、地域の行事の都合からスケジュール調整も難しいこともある。 |
| 辻委員 | 虐待ケースの増加について、包括ひらた圏域は通報件数が多い。要因や、ケースの内容はどのようなものが多いか。 |
| ひらた | 虐待に関する知識がケアマネにも普及してきたことで、ケアマネからの通報が増えていると考える。また、デイサービスの職員からタイムリーに通報をすることもある。  虐待の内容については、金銭的な事や認知症が原因になっていると感じる。 |
| 辻委員 | 住民さんから直接の通報は増えているのか。 |
| ひらた | ケアマネ等からの通報が多いと感じる。 |
| 新井委員 | 関係性の構築を意識して、地域を巻き込んで連携することを取組として進めることが大切になる。 |

**（２）　令和6年度彦根市地域包括支援センター運営方針・事業計画について**

* 事務局から運営方針、自己評価、実態確認、事業計画について説明。
* 各地域包括支援センターから令和6年度事業計画のポイントについて説明。

【質問・意見】

|  |  |
| --- | --- |
| 新井委員 | 住民からの相談が増え、内容も複雑化多様化してきた。また災害もテーマとなることもあり、連携先も増えてきた。包括の業務も増えてきたが職員も限られる中で他者を活用することや、業務の効率化を意識することが必要になってきている。 |

**（３）令和6年度介護予防支援業務委託事業所（案）について**

* 事務局から説明。

　　　全委員により承認

**（４）**令和7年度金城・平田学区における地域包括支援センターの委託先変更について

* 事務局から説明。令和7年度金城・平田学区委託先
* 社会福祉法人　近江ふるさと会（予定）

　　　全委員により承認

**◆閉会**